NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

ミニ通信　第80号

1月車いす整備例会

2012年1月15日（日）

■時間：10am～3pm
（雨天でも開催）

■場所：交運社熊川工場
福生市熊川９７９
ＪＲ青梅線牛浜駅下車5分

■会員以外の方の見学参加を歓迎いたします。

子ども用車いす贈呈「ベトナム」

当会はベトナムに寄贈した150台の車いすを２県の赤十字社支部を通じて地元の障害者施設や病院と障害を持つ子ども達に引き渡すために、11月14日にタイ・グエン県で引き渡し式を行いました。

ベトナム赤十字社幹部、日本大使館書記官、子ども達や家族代表が出席した贈呈式後、各々14台を贈呈した病院とリハビリテーション・センターを訪問し、車いすが使われている様子を視察したり、治療を受けている子ども達の病室を訪ねた折には、病院・施設の幹部の人達に感謝の言葉をいただき、当会の活動が多くの人の支援で行われていることを説明しました。

翌日は地区の役所を訪れて、地区幹部と共に寄贈された子ども達の自宅を訪問しました。訪問先では車いすのお陰で外に出ることが出来るようになった子ども達と介護の負担が軽減された家族の笑顔が強く印象に残りました。同時に、彼らのような機会が与えられず、自宅や病院に横たわったままの子ども達が大勢いる現実を目にし、当会の活動の意義を再認識した訪問でした。なお、本件は外務省NGO連携無償資金協力の支援を受けて実施しました。

文責　会員　小田　謙介

会長　森田　祐和　090-7239-7264　E-mail　info@kotobukiya.com
事務局　志茂　和泰　090-9369-4878　E-mail　shimo-yu@whi.m-net.ne.jp
http://www.kurumaisu.ma.cx/

NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

ミニ通信　第81号

2月車いす整備例会

2012年2月19日（日）

■時間：10ａｍ～3pm
（雨天でも開催）

■場所：交運社熊川工場
福生市熊川９７９
ＪＲ青梅線牛浜駅下車5分

■会員以外の方の見学参加を歓迎いたします。

子ども用車いす贈呈「エチオピア」

昨年12月にエチオピア北部バハルダール市のチェシャ財団障害者支援センターに90台の車いすが到着したとの報を受け、会長である私が現地に赴きました。贈呈式はチェシャ財団幹部、在エチオピア大使館、メディア、障害児童と父兄などが出席して行われました。

今回は、10軒ほどの障害児家庭を訪問して、児童の生活環境がどのように変わったのかを取材してみました。各家庭を訪ねると、車いすに乗った子どもたちは満面の笑みで「車いすに乗って一日外にいたい」「これから自由に動ける」「私たちのような貧しい人たちに車いすを贈呈してくれてありがとう」との声や、父母から「本当に移動が楽になった、涙が出るくらいうれしい」との声をいただきました。

窓のない部屋から外に出て日光浴をしている子、学校の教室で勉強中の子ども、車いすで生活が大きく変わった姿を目の当たりにし、子ども達の明るい顔が印象に残りました。その後アジスアベバにあるチェシャ財団障害児支援センターを視察しリハビリの実態を丹念に見学し、当地の家庭も訪問。子ども用車いすが切望されていることを確認しました。文責　会長　森田祐和

会長　森田　祐和　090-7239-7264　E-mail　info@kotobukiya.com
事務局　志茂　和泰　090-9369-4878　E-mail　shimo-yu@whi.m-net.ne.jp
http://www.kurumaisu.ma.cx/

NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

3月車いす整備例会
2012年3月18日（日）
■時間：10ａｍ～3pm
（雨天でも開催）
■場所：交運社熊川工場

ミニ通信　第82号

2011年度寄贈実績

■5月　ネパール
国際ネパール同盟 100台
■8月　ベトナム
ベトナム赤十字社 150台
■10月　エチオピア
チェシャ財団　90台
■11月　フィリピン
ＪＶＲ財団　80台
■2月　カンボジア
カンボジアJICA研修生同窓会　80台
■2月　タイ
タイ障害者協会　80台
合計　580台

車いす整備例会状況

今年度の車いす整備例会には企業2社、大学2校、高校4校、中学2校、ボーイスカウト、ロータリークラブ、自立塾、在日外国人3か国の応援参加を得て延358名（2月現在、月平均33名）が参加しました。

ミャンマーの車いす事情

ミャンマーは人口6242万人、1人当たりのGDPは702US$　(日本42,783US$)、主要農産物は米で農地の60%を水田が占めています。1人当たりのGDPが1,000US$にとどかない東南アジアでは最も貧しい国の一つです。人口の10%が障害者(児)であるというWHOの推計によると62万人の障害者（児）が国内にいることになります。

そこで、車いすが必要な子どもたちはどのくらいいるのであろうか？、実数は不明ですが、周産期医療の不十分さや感染症などが原因となって脳性まひとなどの障がい児の数は日本に比べて圧倒的に多く、日常生活に車いすを必要とする子どもは多数存在します。しかし、ミャンマーでは子ども用車いすを手に入れること非常に難しい。

車いすが必要な子どもたちは日常、床に寝かされて過ごすし、身体の変形が進んでしまったり、食事が十分飲み込めなかったり、本来持っている機能を生かすことができずに生活しています。彼らが座って食事がとれ、時には車いすで外出し、ゆくゆくは学校に行けるようになることは大きな喜びであり、彼らが成長し社会の一員として生活していく大きな一歩になります。

吉田美穂（元JICA専門家 障害者支援分野）

会長　森田　祐和　090-7239-7264　E-mail　info@kotobukiya.com
事務局　志茂　和泰　090-9369-4878　E-mail　shimo-yu@whi.m-net.ne.jp
http://www.kurumaisu.ma.cx/

NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

ミニ通信　第83号

4月車いす整備例会
2012年4月15日（日）
■時間：10ａｍ～3pm
（雨天でも開催）
■場所：交運社熊川工場
福生市熊川９７９
ＪＲ青梅線牛浜駅下車5分
■会員以外の方の見学参加を歓迎いたします。

本件は外務省の日本NGO資金協力支援を受けました

フィリピンの子ども達に手渡してきました

昨年夏休みに多摩工業高校のボランテイアクラブのみなさんが整備した80台の子ども用車椅子は12月に現地に届き、1月24日に供与する5団体に引き渡しました。贈呈式には各団体の責任者と受益者である障害児約20名と保護者、福祉局の幹部、日本大使館公使などに出席いただきました。

今回でフィリピンへの寄贈は3回目累計281台になりますが、いずれの施設でも全く不足しており追加の要望を受けてました。フィリピンでは貧しい家庭が障害児を育てられなかったり、生まれた時から孤児として施設に預けられる場合が多く、その施設もカソリック系の団体が療育を支援しています。

引き渡し後3日間4つの施設と障害児を養育している家庭5軒訪問しました。
訪問先の家庭で17歳の子どもがこれまで床で仰向けの生活から、車椅子で座っての生活になって、目に見える景色が変わったと喜んでいました。
かなり重度の脳障害を持つ少年を17年間献身的な介護と深い愛情を捧げている両親に感服しました。そして父親から日本の皆さんにお礼を伝えてほしいと託されました。

文責　理事　片野智之

会長　森田　祐和　090-7239-7264　E-mail　info@kotobukiya.com
事務局　志茂　和泰　090-9369-4878　E-mail　shimo-yu@whi.m-net.ne.jp
http://www.kurumaisu.ma.cx/

NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

ミニ通信　第84号

5月車いす整備例会
2012年5月20日（日）

■時間：10am～3pm
（雨天でも開催）
■場所：交運社熊川工場
福生市熊川９７９
ＪＲ青梅線牛浜駅下車5分
■会員以外の方の見学参加を歓迎いたします。

子ども用車いす寄贈「タイ王国」

東日本大震災への外国から受けた支援に対して、日本からアリガトウを送る運動に相模女子大の小泉ゼミが参加し、当会の支援を得てタイへ80台の車椅子をバンコック郊外にあるタイ障害者協会に送りました。

3月1日に車いすの贈呈式を行うために相模女子大学と武蔵大学の学生と先生合わせて11名がタイを訪問しました。

車いすは5つの施設に寄贈され、贈呈式には子供や父兄など40名程それに在タイ日本大使館公使にもお越し頂き盛大に行われました。式では学生達が日本の昔話の劇を披露し子供達との交流を深め、さらに車椅子工場や障害児の学校や施設を視察して来ました。

現地の施設内には共同の車いすはありますが、個人が家庭で使う車いすが不足しているということで、今後も継続して送ってほしいとスタッフの方から懇願されました。

文責　相模女子大学　講師　小泉京美

会長　森田　祐和　090-7239-7264　E-mail　info@kotobukiya.com
事務局　志茂　和泰　090-9369-4878　E-mail　shimo-yu@whi.m-net.ne.jp
http://www.kurumaisu.ma.cx/

NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

ミニ通信　第85号

6月車いす整備例会
2012年6月17日（日）

■時間：10am～3pm
（雨天でも開催）
■場所：交運社熊川工場
福生市熊川９７９
ＪＲ青梅線牛浜駅下車5分
■会員以外の方の見学参加を歓迎いたします。

当プロジェクトは外務省の日本ＮＧＯ無償資金協力支援事業として行われました。

子ども用車いす寄贈「カンボジア」

カンボジアへは2回目の寄贈として80台を送り3月5日に政府保健省幹部、JICA研修生同窓会、日本大使館代表を招いて、全国11のリハビリテーションセンターに対して引き渡し式を行いました。

カンボジアは豊かな自然とメコン川の恩恵に浴していますが、ベトナム戦争や内戦の影響で経済発展は遅れ、貧富の差も広がっています。

身体障害児の多い地方は電気のない所もあって、子どもが8～10人いる家庭が多く今も人身売買が行われていると聞かされました。

身体障害児に対する手当はおくれており、車椅子は貴重品で、当会が送る台数は数もすくなく到底問題の解決にならないのは歯がゆい思いです。

引き渡し後に4カ所のリハビリセンターを訪問し障害児を持つ家を訪問して車いすを届けて、子どもも家族も喜んでくれましたが、渡せない子ども達が泣いている光景に出くわして困惑しました。

なお、プロジェクトには東京昭島中央ロータリークラブの方々に整備に参加いただき、多くのご支援をいただきました。

文責　理事　　片野智之

会長　森田　祐和　090-7239-7264　E-mail　info@kotobukiya.com
理事　片野　智之　090-2839-6319　E-mail　katano-tmyk@kit.hi-ho.ne.jp
http://www.kurumaisu.ma.cx/

NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

ミニ通信　第86号

6月車いす整備例会
2012年8月19日（日）

■時間：10ａｍ～3pm
（雨天でも開催）
■場所：交運社熊川工場
福生市熊川９７９
ＪＲ青梅線牛浜駅下車5分
■会員以外の方の見学参加を歓迎いたします。

例会参加に若者の広がり

当会の活動に賛同し参加する会員やボランテイアは、毎月第3日曜日に福生市で収集した車椅子を海外で安全、快適に活用してもらえるように洗浄・整備の活動を行っています。

一時は参加者が10名足らずの状態になり海外へ送ることに支障をきたし、一方では車椅子の在庫が増えて倉庫が一杯になることもありました。

ところが昨年後半からこれまで参加している地元のボーイスカウトや高校生に加えて都内の大学生、多くの企業からのボランテイアなど若者の参加が多くなりました。また、日本で働くベトナム人やエチオピア人、マレーシアからの留学生も参加しています。

さらに福生市の青少年自立塾の塾生も参加しており、シニアから若者へ様変わりで毎回40名近い人が参加しています。

若い人が当会の活動に参加することによって多くのことに気づき、学んでくれ更に仲間が増えることを期待しています。

当会の呼びかけや口コミやホームページで当会の活動を知って参加のきっかけとなり継続して参加していることは喜ばしい限りです。

文責　理事　片野智之

会長　森田 祐和　090-7239-7264　E-mail　info@kotobukiya.com
理事　片野 智之　090-2839-6319　E-mail　katano-tmyk@kit.hi-ho.ne.jp
http://www.kurumaisu.ma.cx/